

北海道胆振東部地震からの  
まなびを繋ぐ



2019.7.13(土)

**災害に強い組織  
をつくるための  
安全対策**

10:30~16:30 受付 10:00

会場 北農健保会館 札幌市中央区北4条西7丁目 [アクセスはこちら](#)



参加対象 看護職

参加費 北海道看護協会会員：無料 非会員：1,000円

●ご希望の方には昼食を準備しております。

申込締切 6月27日(木) 所定のFAX用紙にてお申込みください。

●申込後に欠席される場合は、下記担当者へお知らせ願います。

●申込多数により、ご参加をお断りする場合は、FAX または電話にてお知らせします。  
その際は、札幌第1支部会員の参加を優先させていただきます。

定員  
100名

プログラム

第1部 講演

10:30~12:00

オリエンテーション 挨拶

北海道科学大学保健医療学部看護学科助教 石川幸司 氏

テーマ：有事における災害派遣医療チーム (DMAT) の活動と  
医療機関の初期対応、平時からの備え

休憩 60分

第2部 講演

13:00~14:00

札幌麻酔クリニック 金谷潤子 氏

テーマ：災害体験から学ぶ在宅医療の本質 大切なことは何だろう？

休憩 20分

第3部

情報交流会

14:20~16:30

テーマ：北海道胆振東部地震からのまなびを繋ぐ

座長 医療法人社団土田病院看護部長 仲田恵子 氏

1. 社会医療法人アルデバラン手稲いなづみ病院医療安全管理者 伊藤尚代 氏
2. 医療法人徳洲会札幌南徳洲会病院看護部長 工藤昭子 氏
3. JA 北海道厚生連むかわ町鶴川厚生病院看護管理科長 阿部久美子 氏
4. 北海道エア・ウォーター株式会社医療事業部営業部 棟方祐介 氏
5. 医療法人北農会恵み野訪問看護ステーション「はあと」所長 樋口秋緒 氏
6. 北海道文教大学人間科学部看護学科教授 鹿内あずさ 氏

札幌市の想定では、マグニチュード7.3の直下型地震が発生した場合、34,000棟の建物が全壊し、冬場であれば8,234人の死者が出ることが予想されています。しかし、実際に災害が発生した時にどう行動するのか災害マニュアルの検討や災害訓練などに不足があると感じている看護職は多いのではないのでしょうか。昨年の北海道胆振東部地震では、北海道全域での大停電を経験し、各施設さまざまな課題が浮き彫りとなったことと思います。今回の医療安全交流会では、各施設での経験を情報共有し、自施設での安全対策・災害対策に繋げていただきたいと思います。考え企画いたしました。

みなさまのご参加をお待ちしています。

主催 北海道看護協会札幌第1支部 医療安全特別委員会

担当者 札幌中央病院 石井令子 TEL: 011-513-0111 E-mail: r-ishii@sc-h.or.jp